

守山まるごと活性化 議事要旨

作成日6月16日
作成者: 田中 宏紀

会議名: 平成27年度Dプロジェクト(玉津ホタル祭りプロジェクト)会議・第二回

日時: 平成27年6月15日(月)

場所: 玉津会館 会議室1

出席者: 荒木勝司、北野進、谷口喜久、田中光一、本郷みちる、荒木清

アドバイザー: <守山市ほたるの森資料館>古川道夫副館長

出席者(行政): <玉津会館>富田館長、田中主事<守山市役所>地域振興課:植村集落支援員、文化財保護課:福島主任、環境政策課:竹川係長

使用資料: ホタル飛翔状況調査表、アドバイザー提供資料、他

議題

1. ホタル飛翔状況調査の結果報告
2. Dプロジェクト今後の取組みについて

会議要旨

内容

第一回の会議に引き続き本プロジェクトの取組みについて協議をおこなった。

1. ホタル飛翔状況調査の結果報告

- ①前回会議で決まったホタルの飛翔状況調査結果について各自治会担当者より報告があった。
- ・調査において、仕事や家庭の事情がある中で、多くの時間をとって調査をおこなっていただいた。
 - ・各自治会においてホタルの飛翔が確認できた。但し、自治会間で飛翔数に差はある。
 - ・飛翔が確認できた場所には川沿い以外に、農業用水や民家付近の用水路があった。
 - ・短い期間でしか飛翔が確認できなかった。
 - ・近年、増加傾向にある箇所もあった。
- ②結果報告の内容を踏まえて、アドバイザーの分析、説明。
- ・今年は、全国的に異常なほど飛びはじめるのが早い。
- ホタルの幼虫が土の中にいる3~5月の気温が高かった影響だと推測される。(異常気象の影響)
- ・例年、守山市のホタルの飛翔は、市街地付近から田園地域に徐々に広がる傾向にあるが、今年は全地域一勢に飛翔が始まった。
 - ・例年、1ヶ月近く飛んでいるが今年は短かった。
 - ・今年ホタルを確認できた地点は来年もおそらく発生する。
 - ・但し、飛翔の範囲は拡大、縮小と一定ではない。

2. Dプロジェクト今後の取組みについて

- ①ホタルの保護に向けて
(アドバイザー)
- ・幼虫が川に降りるまでの間(七夕を目処とする)は、ホタルの飛翔箇所の草刈を控えた方がよい。
(裏面につづく)

決定事項

(ホタルの保護活動)
当面はアイデアを出し合いながら具体的な活動を検討していく。
草刈を遅らせる件については、積極的に進めていく予定。
(玉津ホタル祭りについて)
保護活動を優先する。長期的な計画を持って将来的な開催を目指す。

次回以降について

今年度、数回会議を開き2、3月に保護活動やイベントの取組み方針を結論付ける。

会議要旨

内容

- ・餌となるカワニナが生息していればホタルは発生する。
 - ・河川の容量(カワニナの生息量の増減、等)があるので、右肩上がりに増えることはない。
(意見交換)
 - ・特別保護区域に指定することについて、守山市内にも該当の場所があるが、来客が増えることによる近隣住民とのトラブルやゴミ等により環境が悪化するリスクがある。
 - ・看板を立て、草刈に関することや飛翔環境の保護を啓発する。
 - ・ホタルが飛翔している内容の看板を立てると来客が増えてしまうため、河川環境の保護の内容にとどめて看板を設置する。
 - ・河川の美化活動については、地域の方が頻繁に取り組んでいる。
- ②玉津ホタル祭りの開催について
- ・祭り等のイベントを行うリスクは多々あり慎重に進めていく必要がある。
 - ・祭りを行うにしても、開催場所や日時、来場者、等を限定するべき。
 - ・複数年計画で議論を進めていく予定。